

市民意見聴取について

令和5年11月
政策局

LINEアンケート

次期総合計画策定における市民参画の一手法として、LINEアンケートを実施。
市長とドンドン語ろう、ワークショップ等の参加型の市民参画とは別に、

より手軽に、幅広く市民から意見を聴取する手段として実施した。



【実施期間】 **令和5年9月26日～10月25日**

【回答者数】 **1,504** 名

【質問項目】Q1.お住まいの地区

Q2.年代

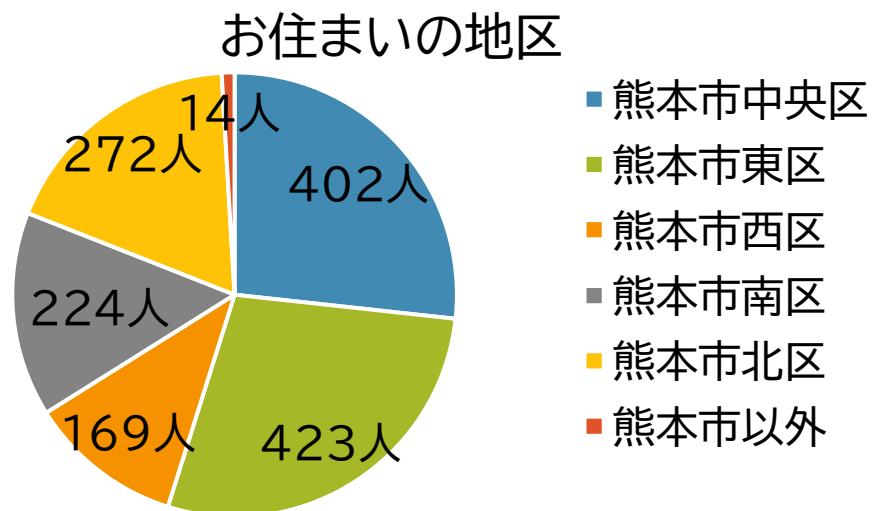
Q3.性別

Q4.「上質な生活都市」を実現するために、熊本市がもっと力を入れるべき分野(複数回答可)

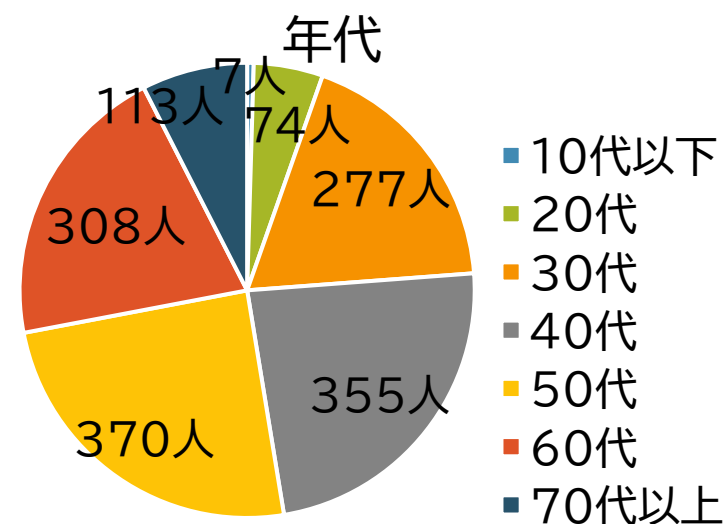
Q5.Q4で選んだ分野について、具体的にどのような取組が必要か自由記載

Q6.その他、ご意見等あれば自由記載【任意】

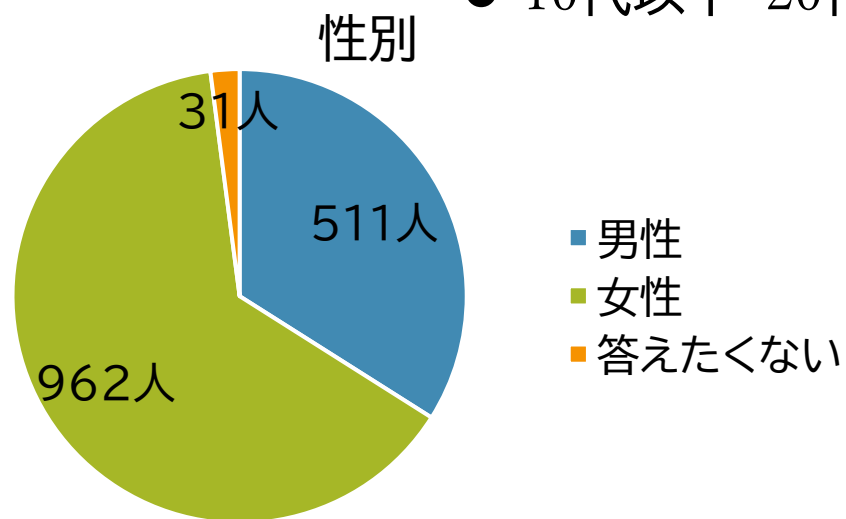
LINEアンケート結果



- 熊本市在住の方がほとんど。
- 各区の回答者数は居住人口に比例している。



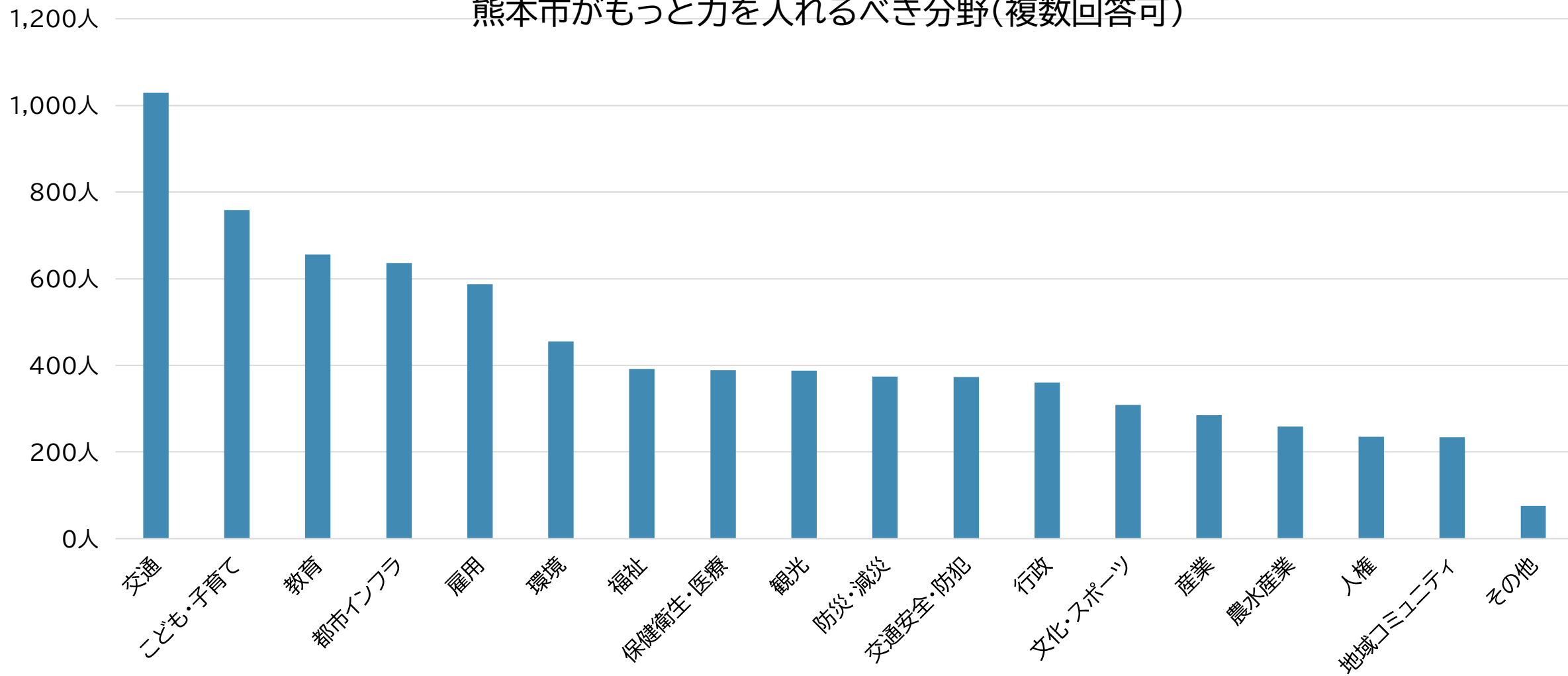
- 50代、40代、60代の順に多い。
- 10代以下・20代は少なく、全体の約5.4%。



- 女性が65%と多い。

LINEアンケート結果

熊本市がもっと力を入れるべき分野(複数回答可)



- トップ5は、①交通、②こども・子育て、③教育、④都市インフラ、⑤雇用
- 具体的な取組についての意見では、特に、渋滞解消や道路・交通問題、子育てしやすい環境の整備についての意見が目立った。

出張アンケート

中央区

回答者数 **116** 名

10月21日(土) 10時～16時
くま博@花畑広場

南区

回答者数 **91** 名

10月22日(日) 10時～12時
城南町ふるさと祭り
@火の君文化センター

↓ 以下、未実施

北区

回答者数 名

11月11日(土) 10時～16時
北区こどもまつり
@熊本市植木中央公園運動施設

西区

回答者数 名

11月12日(日) 13時～16時
西区にぎわいまつり
@熊本港内親水緑地広場

東区

回答者数 名

11月18日(土) 10時半～17時
東区民まつり
@ピアクレス(健軍商店街)アーケード

LINEアンケートと同様の質問項目で、各区で開催されるイベントに出向き、タブレット・スマートフォンから簡単に回答できるアンケートを実施。

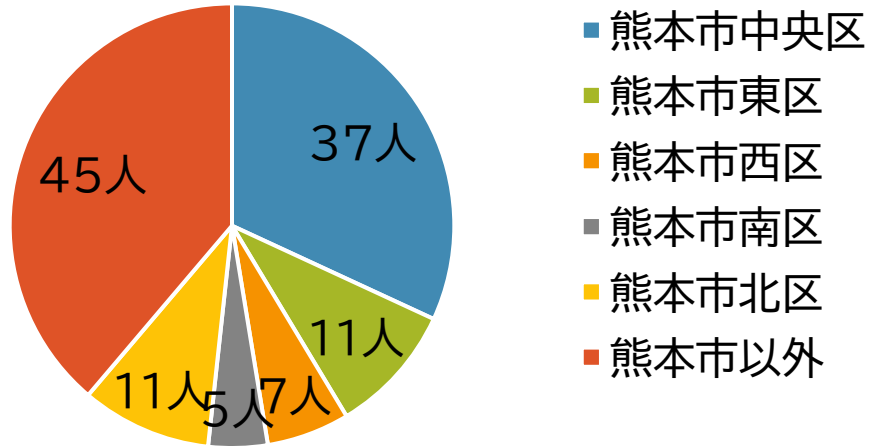
普段ワークショップ等にはなかなか来ないような方も含め、様々な世代からの多様な意見把握を目的に実施した。

熊本市がもっと力を入れるべき分野については、LINEアンケートの結果と同様、こども・子育て、交通、教育が中央区・南区ともに上位に入った。

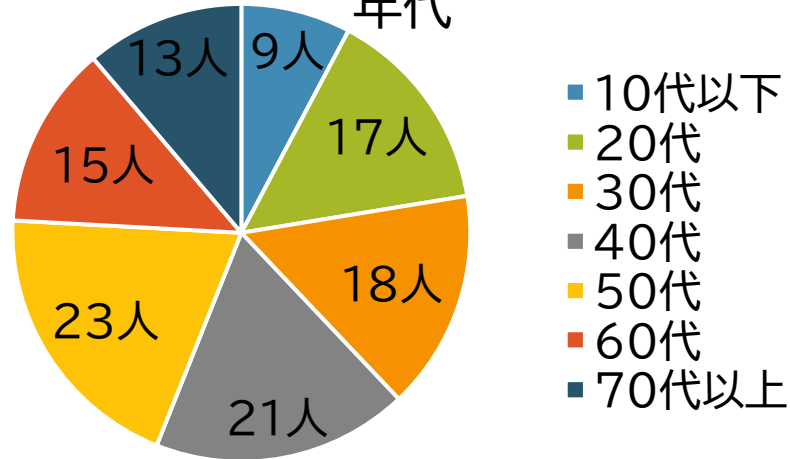


出張アンケート(中央区)結果

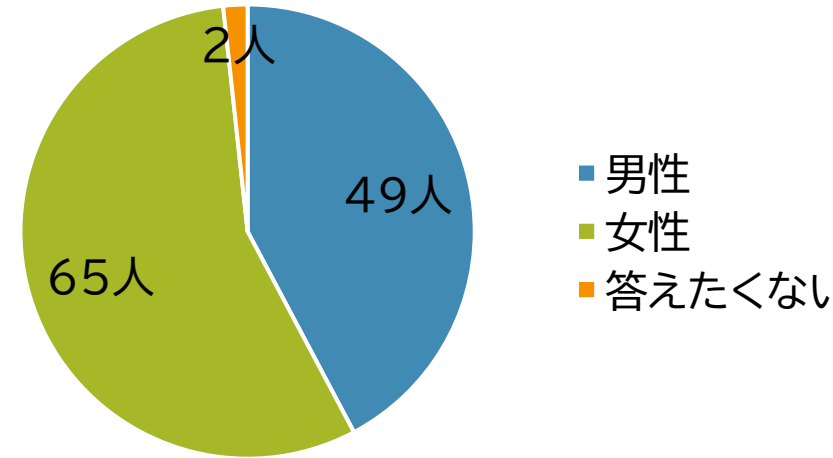
お住まいの地区



年代



性別

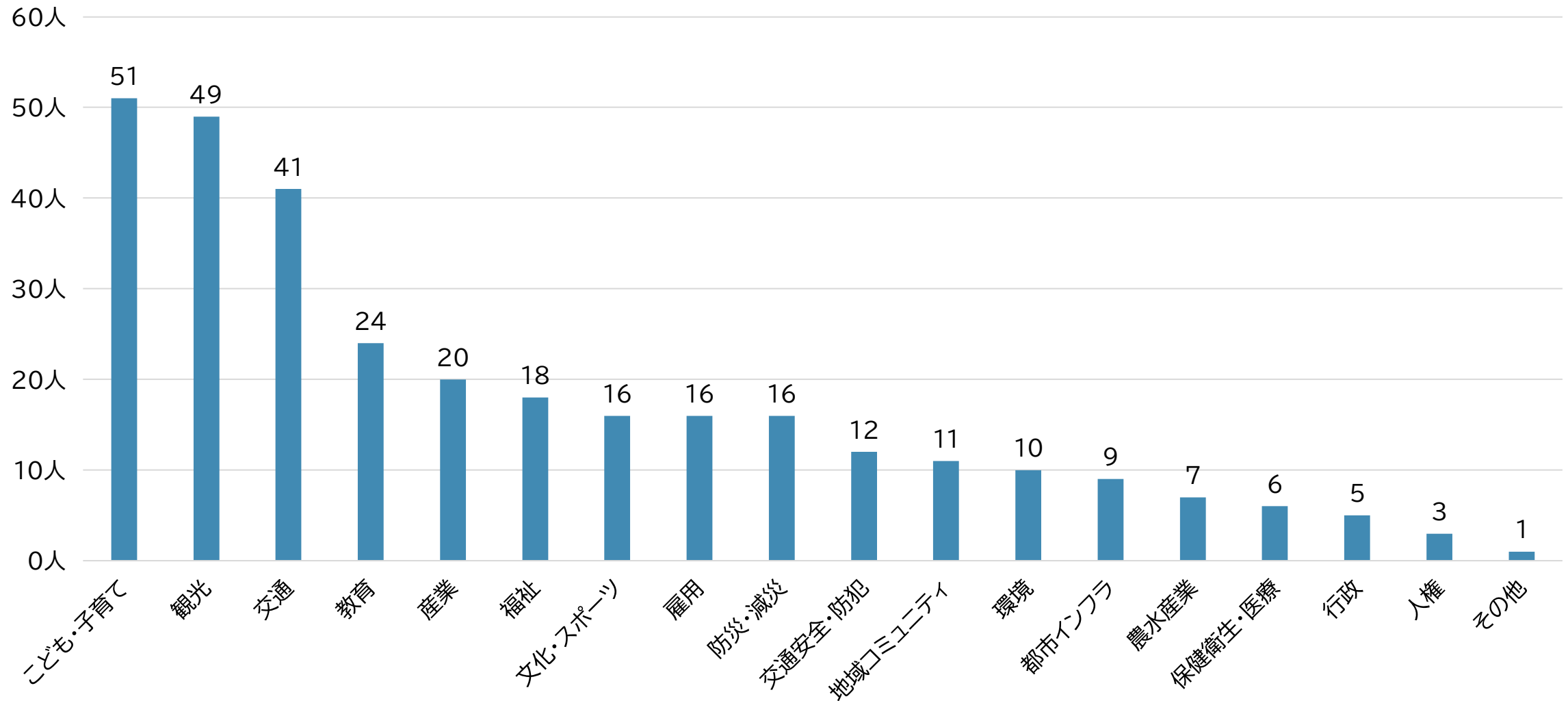


- 中央区での出張アンケートは、10/21(土)にくま博@花畑広場で実施した。
- くま博は、10/7(土)～11/5(日)で、花畑広場とアミュひろばで開催されているもので、10/21(土)は日韓友情コンサートが行われる日だった。
- くまモンのステージもあり、熊本市以外からの観光客も多かった印象。そのため、アンケート回答者も熊本市以外の方が多かった。



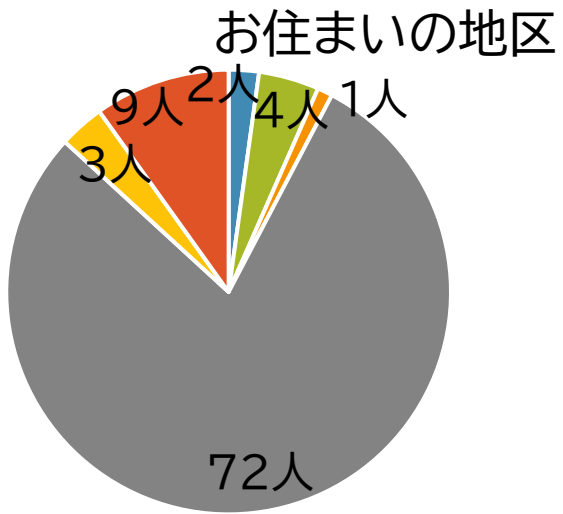
出張アンケート(中央区)結果

熊本市がもっと力を入れるべき分野(3つまで)

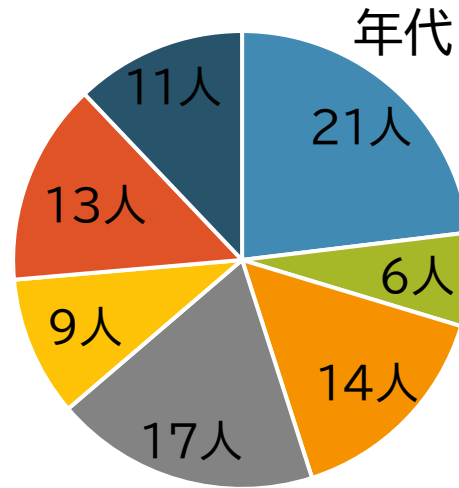


- トップ5は、①こども・子育て、②観光、③交通、④教育、⑤産業
- LINEアンケートと同様、こども・子育て、交通、教育の分野に力を入れるべきとの意見が多い。

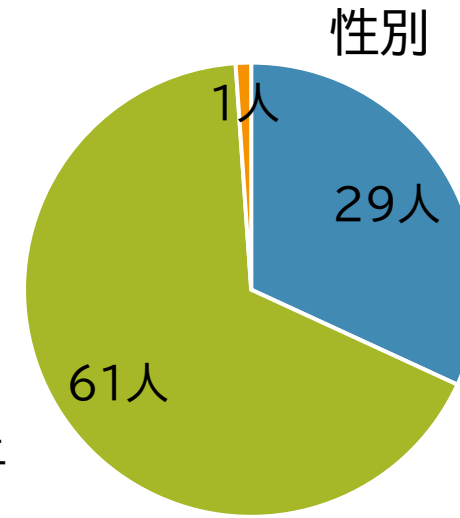
出張アンケート(南区)結果



- 熊本市中央区
- 熊本市東区
- 熊本市西区
- 熊本市南区
- 熊本市北区
- 熊本市以外



- 10代以下
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上



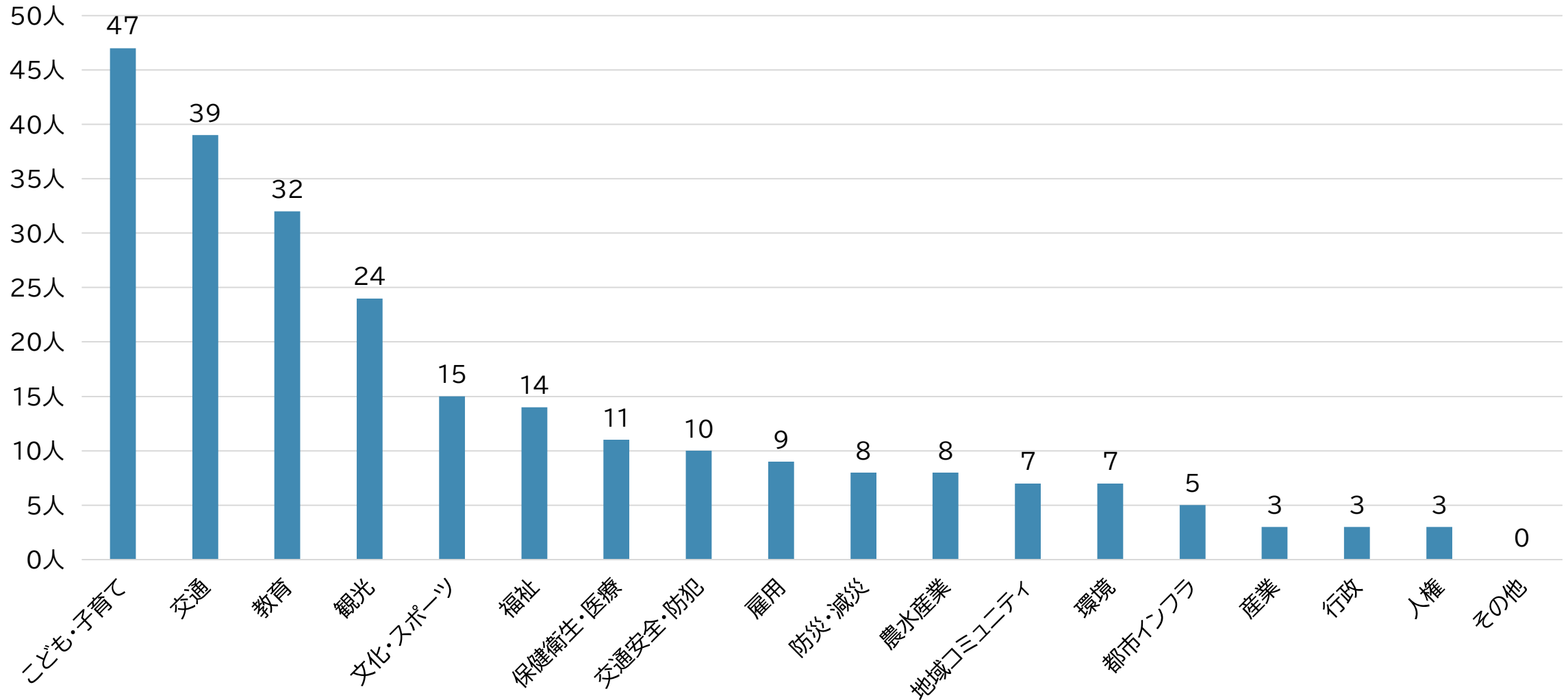
- 男性
- 女性
- 答えたくない

- 南区での出張アンケートは、10/22(日)に城南町ふるさと祭り@火の君文化センターで実施した。
- 火の君文化センターの屋外で行われたイベントで、おもてなし武将隊や地元の保育園等によるステージや食バザーが開催されていた。
- 地元の方が多く来ており、アンケート回答者も南区の方が多かった。10代以下の子ども達にも多く回答してもらえたのが特徴。



出張アンケート(南区)結果

熊本市がもっと力を入れるべき分野(3つまで)



- トップ5は、①こども・子育て、②交通、③教育、④観光、⑤文化・スポーツ
- LINEアンケートと同様、こども・子育て、交通、教育の分野に力を入れるべきとの意見が多い。

ワークショップ

出水中学校でのワークショップ

※11月15日(水)に、必由館高校でのワークショップも実施予定。

実施概要

- 日時 9月20日(水) 13:55~14:55
→総合学習の時間(出前講座の一環として実施)
- 参加者 出水中学校1年生 19名
- 概要

次期総合計画の策定に向けて、熊本市の将来を担う学生とめざす将来像や課題を共有し、主体的に今後の熊本市の未来について考える機会として、ワークショップ形式で実施した。

当日の流れ

1. 熊本市のことについて、市から説明。
2. 熊本市が「**上質な生活都市**」になるために何が必要か、グループで話し合いを実施。
3. 代表グループから発表。



▲ 熊本市の概要について説明

▼ グループワークの様子



ワークショップ

学生の主な意見

テーマ	問題点	対応案
経済・観光	✓ コロナで減少した観光客を取り戻すため、熊本の魅力発信やまちの賑わいづくりが必要。	✓ くまモンと企業のコラボによる商品を開発し、県外へアピールする。 ✓ 熊本市内の広場を活用し、家族連れで来場できるお祭りイベントを実施し、賑やかな街並みを創出する。 ✓ 外国人にもっと来てもらえるように、外国語での案内をさらに増やしたり、おもてなしを充実させる。
都市計画・交通	✓ 渋滞の解消が必要。 ✓ 雨の日の朝の時間帯に渋滞が激しく、通勤通学に支障がある。 ✓ クランクが多かったり、細い道が多いことも渋滞増の理由になっている。	✓ 雨の日の送り迎えを可能な限り辞めて、公共交通機関を利用するようにする。 ✓ 渋滞がひどい箇所の道路整備を進める。